



ほどがやボラセンだより

2022年 冬号

発行元：保土ヶ谷区社会福祉協議会
ボランティアセンター

ボランティアセンターのご案内

『ボランティアをしたい人』

『ボランティアさんを探している人』

まずは、お気軽にボランティアセンターにご相談ください！

ボランティアセンターで双方をつなげるお手伝いをいたします。

何かボランティアをしてみたい方、施設や地域のサロンなどからのボランティア依頼相談を随時受け付けています。

保土ヶ谷区ボランティアセンター

保土ヶ谷区川辺町 5-11 かるがも 3F

◆受付時間

月曜～土曜 / 9:00～17:00

窓口 または ☎045-332-2412



保土ヶ谷区社協 HP

ボランティアに興味のある方！

保土ヶ谷区ボランティアセンター

に仮登録をしませんか？

フォームからボランティア活動の仮登録ができるようになりました！

ご記入いただいた内容に基づいて、保土ヶ谷区ボランティアセンターからご連絡いたします。

※ご記入いただいた個人情報はボランティアセンターの業務以外には使用いたしません。



仮登録フォーム

かるがも20周年フェスティバル



複合施設かるがもの4施設合同企画「かるがも20周年フェスティバル」を11月13日（日）に開催しました。当日は、【チームかるがも】の力強い和太鼓演奏で幕を開け、大盛況のうちに幕を閉じました。約300人ものお来場者をお迎えできたこと、心よりうれしく思います。

3階の保土ヶ谷区社協では、コロナ禍で活動を始めた【季節かざりサークル】の皆さんが、丹精込めて作ってくださったクリスマス飾りと、秋をイメージした愛らしい作品を展示しました。

会場を華やかに盛り上げてくれた作品は、月見台の伊東さんがボランティアとして講師を引き受けてくださり、サークルのみなさんと一緒に作成しました。

また、来場者にお持ち帰りいただく作品を用意するために、月2回の活動時間だけでは足りず、伊東さんやサークルの皆さんが自宅でも作品を作りながら準備してくださいました。

前日の会場準備も数名のボランティアさんが手伝ってくださり、最後の手直しなど、細かな作業を助けていただきました。本当にありがとうございました。

「まちの子」育て応援講座のご案内

共催：地域子育て支援拠点こっころ

日程：令和5年2月4日（土） & 3月11日（土） ※この間に2回、地域の施設でボランティア体験をしていただきます。

地域の子ども達を、同じ町に住むいろいろな人が育てるといふボランティア活動に興味のある方、また地域で子育て中の親子の力になりたいと思っている方、さらには子どもが大好きな学生さん（高校生以上）で、将来、保育に携わりたいと考えている方・・・など、幅広い年代の方々の参加をお待ちしています。

詳細については、保土ヶ谷区社協のホームページ、または右記二次元コードからご確認ください。



申込みフォーム

～ボランティアさんたちはこんな活動をしています～

高齢者施設や地域で余興活動

地域や施設では、コロナ禍で自粛されていたイベントが少しずつ再開されています。

11月には【ハーモニカ友の会】さんに川島東部地区社協の行事で演奏をしていただきました。

大小さまざまな珍しいハーモニカで奏でる懐かしいメロディに参加者の皆さんは、しみじみと聴き入っていました。



ボランティアセンターには

三味線、フルート、ピアノ、ギター、ウクレレなど、さまざまな楽器を演奏してくれるグループや、落語、南京玉すだれなどの特技を披露してくれる個人・団体のボランティアさんが登録しています。

私たちの施設にも来てほしい！

私の特技を披露したい！

ご連絡お待ちしております☺

地域子育て支援拠点こっころで 折り紙をしながら見守り活動

親子に魚の折り方を教えるボランティアさん



ボランティアさんが作った作品の一部



表紙で紹介した【季節かざりサークル】ですが、2年間で計20回以上、大勢のボランティアさんが、さまざまな作品を作って区内施設に届けてきました。

サークルでの活動は既に終了しましたが、7月からは一部のボランティアさんが引き続き、地域子育て支援拠点こっころで、子ども達と一緒に折り紙を折るボランティア活動を続けています。

取材した日は朝から雨でしたが、10組以上の親子が来場されていました。そのうち2組の親子（2歳の女の子とお母さん）が、折り紙コーナーでボランティアさんやスタッフさんと一緒に、カエルを楽しそうに折っていました。

今回、折り紙コーナーに立ち寄ったのは3回目というお母さんにお話を伺ったところ、「家ではなかなかできないけれど、ここでは娘が楽しそうに過ごしているので良かったです」と仰っていました。

ボランティアのYさんは、「孫がもう高校生なので、小さな子どもと触れ合うのは楽しい！」と笑顔が絶えない様子。また、ボランティアのFさんは、子ども達へのプレゼントとして、いつも色とりどりの素敵な作品を持参。

うちの施設でも、このような活動を始めてみたいというご希望がございましたら、ボランティアセンターまでご相談ください。また、地域の子育てサロン等で活動したいというボランティアさんがいらっしゃいましたら、ぜひご一報を！

特別支援教育支援員

【特別支援教育支援員】とは、市立小・中学校に在籍している特別な支援が必要な児童・生徒に対して、校内および校外活動において学習面や行動面の支援を行うボランティアです。

令和4年度は、区内の5つの小学校で15名の教育支援員さんが活動中です。来年度6年生になる児童の支援員さんの中には入学時からずっと見守り、成長を支えてくださっている方もいます。

活動に興味のある方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。活動条件の合う学校が見つかり次第、学校長との面談を経て、特別支援教育支援員として登録されます。

活動期間は基本、4月～翌年3月までですが、夏休みなど学校の長期休暇期間はお休みとなります。

また、活動頻度は週1～2回、1日3～4時間程度です。

あなたも学校スタッフの一員として、ボランティア活動をしてみませんか。子ども達の笑顔がやりがいにつながります。



岩間地区ミニ運動会での準備活動



地域の方々と自衛隊の皆さんが、力を合わせて一緒に TENT を組み立てていく様子を見てみると、昔の日本の田舎の風景が思い出されました。

前日までの雨も上がり、秋晴れとなった 10/15（土）、西久保町公園には翌日開催予定の岩間地区社協主催の運動会準備のために【横浜駐屯地曹友会（自衛隊）】の皆さんが駆けつけてくれました。

～主催者さんからの声～

今年は気持ちの良い方々に活動していただき、本当に良かった。TENT の立て方の指示出しなども的確で参考になった。今回は急な依頼だったため、当日はお願い出来なかったが、「今日も来てほしかった！」との声が運動会当日もたくさん聞かれました。

地域の活動メンバーが高齢化し、例年通りの活動が難しくなっている。今回のボランティアさんの活動を参考に、今後は地元の人々にも声掛けして、新たなメンバーを増やしていき、地域活動が活性化していく工夫をしたいです。

～ボランティアさんからの声～

横浜駐屯地曹友会は駐屯地所属隊員の任意団体であり、休日などを活用し、部隊の魅力化及び精強化、そして地域社会に貢献すること等を目的として活動しています。「地域の皆様のお役に立てば・・・」と、初めてボランティアセンターに登録させていただきました。微力ではございますが、これからも積極的に活動をしていきたいと思っております。

災害ボランティアについて

区内での災害発生時、災害ボランティアの活動を調整するために、保土ヶ谷区と保土ヶ谷区社会福祉協議会、および保土ヶ谷区災害ボランティアネットワークの三者において、保土ヶ谷区災害ボランティアセンターの設置・運営に関する必要事項を定めた協定を 2013 年に締結しました。

大災害が起きた際には災害ボランティアセンターを立ち上げて、被災された方々のためにボランティアを募集します。

それに備えて 11/13（日）に地域の防災拠点の方々にも参加していただき「災害ボランティアセンターシミュレーション訓練」を行いました。

「災害ボランティアネットワーク」
についてはこちら👉



地域で高齢者の 日常をサポート

【アシスト岩崎】 代表 高橋さん

お一人暮らしの高齢女性から… トイレの電球が切れて困っていると一報が入り、岩崎地区で介護保険対象外の家事支援ボランティアをしているアシスト岩崎の高橋さんが、早速、電球交換に行ってくれました。

他にもアシスト岩崎さんは、草刈り・庭木の剪定や電気コードの整理など

プロに頼むのはちょっと…
というような高齢者の悩みに優しく寄り添ってくださる頼もしいグループです。



【カ（りよ）】 代表 小林さん

こちらも、お一人暮らしの高齢女性からの SOS を受けて、すぐに対応していただいた草刈り・枝卸しのグループです。

3 日間に渡るお庭の手入れを終えた時、依頼者の S さんが、笑顔で、「庭がきれいになって、昨夜はよく眠れた。」と言ってくれ、とてもやりがいを感じたと小林さん。

「作業を通じて、自身の体と頭脳を鍛えられるようで、うれしい！」と作業報告をしてくれた小林さんの笑顔がとても印象的でした。



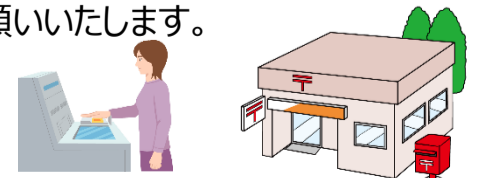
令和 5 年度

ボランティア保険のご案内

来年度のボランティア保険（活動保険・行事用保険・福祉サービス総合補償・送迎サービス補償）の受付開始は**令和 5 年 3 月上旬**を予定しております。

申込書類は本年度と異なりますので、ご注意ください。新年度の書類が揃いましたら、窓口にて配布いたします（2 月中旬頃から）。

尚、保険料のお支払いは郵便局の窓口、又は ATM でのお振込にて、お願いいたします。



～ほ도가や区民まつりでもボランティアさん大活躍～

ボッチャ体験コーナーでのお手伝い！！



10月29日（土）に区内最大のイベントが開催されました！！

大雨による中止やコロナによる自粛が続き、実に4年ぶりの開催でした。
ボッチャ体験コーナーでは、たくさんのボランティアの皆さまに手伝っていただきました！

～ボランティア活動に役立つ講座 開催報告～

ミュージック脳トレ講座初心者コース

認知症を予防するために…

「右脳」を使って懐かしい歌をうたいながら ♪

「左脳」を使って手指のリズム体操をする ♪

40～80代まで幅広い年代の方が受講され、皆さん「楽しい！」と笑顔でした。また、「声を出し、指先を使うことが、とても良いと感じた。」と、早速効果を実感された方もいました。

～講師の「ミュージック脳トレ 夢」から～

今回の受講生が、1～3月に開催予定の指導者養成コースに進み、最終的には仲間として、一緒に活動してくれることを願っています。



音訳ボランティア入門講座

視覚障がい者に本や雑誌等を録音し、CDにして届けるボランティアを養成するために開催した講座です。

今回は定員10名の枠に30名以上の応募があり、皆さんのボランティアへの関心の高さに驚かされました。

講師の保土ヶ谷録音グループ「はし」さんから、音読と朗読の違いやアクセントや発音などの音声表現技術等を学びました。講座修了後は、実習を重ねながら実践へと進んで行く予定です。

～講師の保土ヶ谷録音グループ「はし」から～

皆さんメモを取りながら、真摯に受講いただいています。焦らずゆっくりと音訳の技術と楽しさを習得して欲しいと思っています。



～受講者の感想～

最初は緊張していましたが、いきなり録音技術を学ぶのではなく、音訳の基礎知識を講師の経験等を交えて、丁寧に教えていただいたので初心者にも分かりやすかったです。